



NO. 926  
 発行  
 2017年  
 9月30日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 総団結して闘う

NRU 第70回  
 定期地方大会開く



第70回定期地方大会が、9月16日10時より地本事務所で開催されました。  
 加藤副委員長の開会あいさつでスタート、10時現在、代議員11名中10名の出席で大会が成立したことが宣言されました。

## 議長 仙石委員を選出

議長に仙石委員が選出され「職場内外の問題点など出して議論し大会を成功させたい。代議員各位のご協力をお願いしたい。」とあいさつがありました。

続いて来賓には、日本共産党・田中副委員長、新社会党・小林委

員長からあいさつして頂きました。



## 退職者組合 儀藤事務局長あいさつ

元地本委員長・守橋さんの問題について「じん肺だということ労働災害と判断し新津労基署へ労働申請を行った。  
 しかし、不支給となった。JRではなく、国鉄当社の作業が影響している。再度、鉄道運輸機構へ労働の申請を今月取り組む。  
 じん肺・アスベスト被害について

て、いつ発生するかわからないので、日頃の職場の取り組みを続けていくこと。



他労組でも2人発生している。アスベスト問題について地方本部と一緒に運動を続けていく。  
 退職後は年金問題について取り組みを進めている。来月に退職者組合の大会が開催される。  
 組織状況は、まだ三桁を維持している。ひとりでも多く組織していきたい。

## 斉藤委員長 あいさつ



○斉藤委員長から地本を代表してあいさつがありました。あいさつでは、4つの課題があり、特に最重要課題である組織強化拡大では「組織の強化・拡大は職場の労働条件・労働環境改善、安全・安定輸送を確保させるためにも最重要課題であります。何よりも国労組織の存亡をかけた重要な闘いであります。60歳を超える組合員の比率が今後も増え続ける現状を変えるためにも全力を上げていかなければなりません。」

### ○二つ目は安全問題

○三つ目には東日本大震災の早期復興、脱原発の闘いを継続していくこと。  
 ○四つ目は労働災害根絶の闘い。身近に起こりうること捉え特殊健康診断・健康手帳の取得を広く呼びかける。労働環境改善・安全な状態で働ける環境を作っていくことが求められている。それには「仕事総点検」「安全総点検」により職場に労働運動を広げていくこと。

○最後に、「今、新潟地方本部第70回定期大会は、JR発足30年の検証と政治的課題と2018年春闘勝利諸要求実現に向けてストライキを含むあらゆる闘いを駆使し、組合員・家族が総団結して力いっぱい闘おうではありませんか。私たちがこれまで力を注ぐことをおろそかにしていた、学習を強化して闘う体制を早急に作っていくことが求められています。国労結成70年を迎え組織の強化・拡大と団結の強化を求め、大会参加者の皆さまの真摯な議論より今後の新潟地方本部の発展につながることを祈念し執行委員会を代表しての挨拶とします。」



## みんなの意見

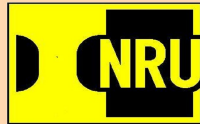
来賓あいさつの後、国労東日本本部から渡辺執行委員のあいさつ、福富書記長から方針案が提案されました。  
 午後から、全体の討論に入りました。

午後から、質疑・討論に入りました。代議員、全員の出席を確認し、発言は代議員や職協代表からもありました。  
 特に職場の問題が中心に出され全体の議論が深まりました。



# 2017年度地本新役員

- 執行委員長 加藤秀夫 (54)
- 執行副委員長 藤井明人 (58)
- 書記長 福富雅彦 (58)
- 執行委員 荒井聡 (55)
- 岡 聡 (57)
- 清野聡 (54)
- 新野徹 (56)
- 羽豆一幸 (57)
- 鷲尾太郎 (57)
- 木村伸一 (54)
- 会計監査委員



国労東日本本部・渡辺執行委員から出席していただきました。四点についてあいさつがありました。

## 国労東日本本部 渡辺執行委員あいさつ

### 組織強化・拡大について

国労加入者が少ない、成果が伸びていない。組織拡大は緊急課題だ。毎年、600〜800名の組合員が退職している。  
今、組織拡大を私たち、ひとりひとりが取り組まなければならない。JR東日本は、国労に対しての差別が少なくなつた。国労加入者に対して会社は当たり前の人事を行っている。10年ぶりに国労復帰した組合員が復帰した年に主務試験に合格して

る。会社内に変化がある。長野地本でも国労加入した青年が試験に合格している。  
組織拡大は、みんなが中心になつて相談して行動を展開していくこと

### 労働条件改善について

エルダー社員制度の変更について提案された。JR本体に残れる。これから基本要求について交渉など進めていく。2500人が対象になる。本当にJRで良いのか、会社の考えについて、つかめない。会社からの調査が始まった。個人面談が始まっている。



東労組は対象者へのアンケート調査をしている。東労組は基本要求の交渉をやるので、国労の交渉が進まない。基本要求の交渉ができない。  
JR本体に希望して現場に残れるのか確認できない。会社は現場に残れることを明言していない。

毎年、2600人が退職されるが

新採者は1600人しか採用しない。JR東日本は、現在56000人で5年間で18000人が退職する。人員は足りないのに会社は現場に残れるか明言しない。

### 安全問題について

交流変電所での作業ミスで山手線が30分止まった。15年ぶりの作業だったため作業手順がわからなかった。安全などや技術教育について問題が大きい。24件、国交省から改善について通達が出されている。

現在、鉄道事業部門で社員が3000人足りない。若い社員たちは研修などの業務が多く、現場で技術継承が出来ていない。

○原発の再稼働を許さない闘い、原発のいらぬ社会をめざす。柏崎・刈羽原発は世界一の原発だ。



昼食休憩後、午後から財政関係の報告・提案があり、全体の質疑・討論に入りました。

大会での、質疑・討論については次号に編集します。



## 編集後記

第70回定期大会で新しい執行体制が確立されました。地本全体が一丸となつてがんばっていきましょう。

これから秋が深まってきました。少し前に秋山郷へ行ってきました。秋山郷から志賀高原につながっている道路があります。

この前、行ったら倒木で道路がふさがれて通行できませんでした。しかし秋山郷まで戻りました。しかし秋山郷の日帰り温泉に入ることができたので、かえって良かったのでしょうか。

